



バグダッドで掃討作戦を行なう米軍兵士 (撮影：志葉玲)

# 戦争取材から日本国憲法

ジャーナリスト 志葉玲



志葉さん

## 国民に真実隠す安倍政権

### 米の戦争に加担する自衛隊

6月23日に開催した幹部学校の第7分科会で、ジャーナリストの志葉玲さんが、「戦争取材から語る日本国憲法」と題して講演しました。志葉さんはイラク、沖縄、パレスチナの現地取材を通してアメリカの戦争に加担する安倍政権を批判し、日本国憲法の「平和的生存権」を保障していくことが重要だと強調しました。講演の一部を紹介します。(文責・見出しとも編集部)

イラク戦争に日本は加担していません。航空自衛隊は米軍の物資を運び、自衛隊は対イラク攻撃の有志連合のカギとなるメンバーだと大絶賛されました。全期間で人員輸送の6割以上が米軍です。第一次安倍政権のときに航空自衛隊はイラクで何をやってるかと言われ、安倍さんは「国連の他の復興支援の人員を輸送しています」と言いましたが、実際はこれです。安保法制審議の前の閣議決定のときに、安保法制によつて日本がイラクやシリアなど中東の戦争に巻き込まれることはないと言った安倍さんは言いがかりで、全く信用できません。国連の人員輸送は6%しかありません。戦争で一番重要なのが兵站(へいたん)です。兵站を担うことは戦争に加担すること、国際的な常識です。

## 米大使館エルサレムへ移転

### 中東和平ひっくり返す

昨年5月、私はパレスチナにいました。5月にイスラエルの米大使館がエルサレムからエルサレムに移転しました。イスラエルはエルサレムが首都だと言いつつ、国際的にはそれを認めないのが、これまでのスタンスでした。アメリカもそうでした。なぜか



イスラエルに攻撃されたパレスチナ自治区ガザ (撮影：志葉玲)

す。日本が攻撃されても文句が言えない状況でした。めっちゃくちゃなテロ掃射作戦。実際に日本が運んでいた米兵たちは、バグダッドで掃討作戦を行ないました。私が現場を見て分かったのですが、テロ掃討作戦というのは大雑把というか乱暴なものです。捕まっている住民には何の容疑もない。米軍に対する攻撃があったから、戦闘可能な年齢の男性の住民を全部捕まえて

収容所送りにし、尋問してテロリストでないか判別するというめっちゃくちゃな話です。私も間違つて米軍に拘束されました。頭に袋を被せられ、後ろ手に縛られ、収容所へ連れていかれました。私の通訳は手足を後ろで縛られ、エビぞりをさせられました。こういう捕虜に対する虐待が平気でやられています。その後、収容されていたイラクの人たちに話を聞きましたが、殴る蹴るの暴行は当たり前、電気ショック、水攻め、ヘッドホンで大音量の音楽を聞かせるミュージックパーティといった拷問がやられました。さらに女性の家族を拉致し、無事に返してもらいたかったら出頭しろ、テロリストだと認めるといふ悪質な人質作戦というのがありました。

## 米刑務所がIS製造 頻発する誤爆で武装勢力に

そういうことをやっていたら、イラクの人たちは米兵に怒っていました。イラク南部のブッカ刑務所はアルカイダ製造センターだと言われていました。米兵のめっちゃくちゃな尋問と拷問で、捕まっている普通の人たちは反米感情が強くなって、刑務所から出られる頃には、みなアルカイダ支持者みたいになるといふ状況がありました。実はIS(イスラム国)も米軍の刑務所から出てきた人たちが結成しました。IS指導者のアフ・バクル・アルバグダディも米軍に拷問されているうちに過激思想を持つようになってしまう。バグダディ容疑者が拘束されたのがブッカ刑務所です。アルカイダ製造センターどころかIS製造センターになっていたわけです。拷問のなかで得られた情報は基本的に信頼できず、誤爆が頻発しました。アルカイダの拠点と言われたイラクのフアル・ジャの民家が空爆されたところを掘り返して出てきたのは、アバヤというイスラムの女性がまどう黒い布と子ども服でした。普通の民家でした。こういった家族を殺された人が憤って反米武装勢力になつてしまつたのです。

## ガザのデモに発砲

### イラン敵視のイスラエル

エルサレムの旧市街で、イスラエル側の強硬派がデモを行なっています。すごい挑発行為です。その周りをイスラエル軍が保護しています。イスラエルの左派の人たちは中東という、イスラエルとパレスチナの紛争を解決するため、2国家共存で、最終的にパレスチナ自治区を国家に格上げして、イスラエルとパレスチナが仲良くやってくださいというのがアメリカ主導の中東和平のプランでした。アメリカがエルサレムに大使館を置くことは、エルサレム全体をイスラエルのものとアメリカが認めることで、これまでのアメリカの中東和平のプランをひっくり返してしまいます。大使館の移転と同じころ、パレスチナのカザではデモを

行なっていました。デモに対して銃が使われました。ジャーナリストや医療チームも撃たれました。私の目の前で人が倒れていく状況でした。大使館移転の日だけで60人近い人が殺され、昨年だけで200人以上殺されています。イスラエルが一番叩きつづけているのがイランです。イランを脅かす

## 検証必要なイラク戦争

こんなバカげた悪循環を日本は航空自衛隊で応援していました。ですから安保法制の運用の前にイラク戦争の検証が必要で、イラク戦争で20万人以上の市民が亡くなっています。こんなひどい戦争に加担したということは、日本として非常にまずい。

ISのメンバーは旧サダム政権の軍人が多いので、日本が戦争を支持して自衛隊を派遣したことを知っています。ISは日本をすごく敵視しています。IS的な思想はISをつぶしても各国にまき散らされており、日本はISの敵だという情報が発信されています。日本のセキュリティにとってもまずい状況です。イスラム・シリア派の民兵組織が急速に力をつけ、シリア派の意向としてイランの意向をアメリカの意向より優先しています。イラクをイランに取られるという危機感もあって、アメリカとしてもイランにむかっています。トランプ政権のなかで戦争を回避することは相当たいへんです。すごく危機感をもつた方がよい。ホルムズ海峡が閉められたら困るだろうとアメリカが言っています。今の日本だとホイホイ自衛隊を出してしまうのではないかと。例によって国民に説明せず真実を隠して、イラク戦争のときにように戦争に加担することとして目の前に出てきてしまっています。

## 自衛隊が

しかしトランプさんは核合意をやめてしまい、イランは怒り、緊張が高まっています。イランはシリアのアサド政権を応援しており、イラクでは